

市民と議会との語る会実施報告書

日 時	令和 4 年 4 月 22日(金) AM 10:00 ~AM 11:00
会 場	越前市役所3F 第3委員会室
出 席 議 員	小玉委員長、中西副委員長、大久保(健)委員、題佛委員、川崎(悟)委員、前田(一)委員、大久保(恵)委員
参 加 者 (市 民)	3名(男性:3人) 福井県宅地建物取引業協会
開会挨拶・ 司会・報告・記録	挨拶:小玉委員長
	司会:中西副委員長 記録:大久保恵子
事業の近況・問題提起	<p>小玉委員長挨拶</p> <p>自己紹介</p> <p>近況報告</p> <p>(協会):コロナになって3年、対面営業が基本の仕事が、一本釣りのな狩猟型の営業になり仕事は激減している。</p> <p>問題提起</p> <p>(協会):一戸建てアパートやマンションでの高齢化率が高く、民生委員の協力が必要になっている。入居者の状態把握のため、カンファレンスにアパートの管理者を参加させて欲しい。</p> <p>福祉施設入所の場合、自己負担 15 万円が負担できない高齢者が多い。デイサービスを利用しながら老人ホームと変わらない様な状態になっている。今のうちに何らかの対策が必要である。</p> <p>(協会):外国人住民が増加しており、現在 6.3%である。村田や AW の関係で全体の3割が外国人である。</p> <p>新しく建てれば売れるが、30 年、40 年の団地を売り出しても若い人は買わない。</p> <p>アパートの需要が多く、越前市はアパートが足りてない状況であり、鯖江から通うことになる。</p> <p>中心市街地の空き家が課題。</p> <p>県外からの田舎暮らし見学者が多い。登記補助などが必要。</p> <p>解体の補助金が必要。</p> <p>課題は多いが宅建業者としても暮らしやすい環境地域をつくっていきたい。</p> <p>(協会):狭隘道路を将来的に解消することや、用途地域の更なる見直し等を提案する。</p>

	<p>(協会): 中心市街地への定住化促進のために、解体費補助金制度を復活させていただきたい。また、新幹線越前たけふ駅周辺開発における将来ビジョンについて、中心市街地との一体的な整備が必要となるが、具体的にはどのような計画を考えているのか。中心市街地とのアクセス強化について都市計画道路松原線を実行するというのを聞いているが、議員の考えをお示し頂きたい。</p>
<p>意見交換</p>	<p>Q・小玉委員: 越前たけふ駅前にベッタウンとしての需要を考え分譲マンションエリアを設けることについては、敦賀以降の延伸がはっきりしない状況では無理か。</p> <p>用途地域の更なる見直しについては。</p> <p>A・協会: 農地の隅からしか申請できない。また個々による申請は手間(煩雑)になるので、一帯を箱割で農振除外の申請ができると良い。</p> <p>Q・川崎委員: 越前たけふ駅周辺に道祖神を設けることについて、詳しく。</p> <p>A・協会: 利活用が決まっていない石垣について、新幹線駅前の南北にできる道路の要所にアピールとして設置してはどうか。</p> <p>Q・川崎委員: 外国人の近隣住民とのトラブルはどう考えているのか。</p> <p>A・協会: 最近では派遣会社が間に入り結構な対応をしている。</p> <p>今や、外国人抜きで地域はなり立たない。この先1割が外国人になると思う。行政の日本語支援の強化を望む。</p> <p>A・協会: 越前市は多文化共生のモデルになる地域だと思う。派遣会社の指導はしっかりしており以前とは意識も変わってきている。</p> <p>外国人が増えるのは市としてはプラスになることだと思う。外国人住民に対しみんなで盛り上げていこう。</p> <p>A・中西委員: 補足として、国際交流協会が多言語版のチラシも作成、教育委員会も努力しているが、暮らしの中のサポートは地域になっている。業者が矢面に立っている。</p> <p>A・協会: 市は外国人を集めて、読み書きの対応を。英語を話せる外国人が多いから比較的やりやすい。</p> <p>Q・協会: 定住化促進のためにアパート・マンションを建てる必要がある。そのために空き地をつくる必要がある。住宅をつくる空き地がない。</p> <p>土地と建物の所有者が違うケースが多い。法廷相続人が明け渡し義務を履行したくない、解体費用を持ちたくないといった理由から、相続放棄が増え、管理人がいなくなり、野生動物の住処になる。屋根が飛ぶ状況にあり、周辺住人から、苦情が出て、地主が</p>

	<p>解体せざるを得ない理不尽な状況になる。以前 100 万円あった解体のための補助金が今はゼロ。解体が進まないから、空き地が出きない。万代町は 20 宅地程を新しく建て、若い人が 50 人増えた。まちづくり予算をしっかりと組んで欲しい。</p> <p>未整備の都市計画道路についてしっかり考えて欲しい。集中的投資を考えて欲しい。</p> <p>大久保恵委員：郊外の学園団地南側は住宅が増えている。一方まちなかの過疎化は目を覆いたくなる。何とかしないと。</p> <p>協会：補助金があれば解体のきっかけになる。空地をつくる必要がある。</p> <p>題佛委員：福祉の視点から生活困窮者のための安いアパートが少ない。まちづくり会社に言っても動きが見えない。業界とまちづくり会社の連携はどのようにされているか。</p> <p>協会：まちづくり会社は定住化促進ではなく、商店街の活性化などに取り組んでいる。直接の連携はないが、テナント等では頼りになると思っている。</p> <p>題佛委員：市営住宅は空きがあるが、60 歳以上や障がい者は、障害者手帳が必要といったしぼりがある。</p> <p>1 人暮らし、低所得者のアパートが必要である。</p> <p>協会：私たちは、低所得者、外国人、障害のある人など住宅が必要な人には供給したい。ただ負担が非常に大きく、ケアマネなどと連携がとれる制度にしたらいいいのになと思う。法律の守秘義務があるので。行政と一緒に考えなくてはいけない。</p> <p>中西(司会)：様々な意見を頂いた。今後、継続的に意見交換していきたい。</p> <p>20 日から6月議会がスタートする。傍聴、CATVなど関心を持って頂きたい。今後ともよろしく願います。</p>
--	---

令和 4年 5月 17 日 越前市議会議長 川崎 俊之 様

産業建設委員会 委員長 小玉 俊一